

令和元年度 第1回防府市観光振興推進協議会
議事録等

□開催日時

令和2年1月14日(火) 午後2時00分から午後3時30分

□場所

防府市役所4号館3階 第1会議室

□次第・議事

次第

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 議事
 - (1) 第2次防府市観光振興基本計画の事業報告について
 - ア 基本事業報告
 - イ 重点事業報告
 - ウ 各種指標の達成状況
 - (2) 第3次防府市観光振興基本計画の策定について
 - (3) その他
- 4 閉会

□配布資料

- 資料1 基本事業報告書
- 資料2 重点事業報告書
- 資料3 各種指標の達成状況
- 資料4 第3次防府市観光振興基本計画策定スケジュール(案)

□傍聴人

なし

出席者名簿

敬称略・順不同

	区分	委員名	所 属	出欠
委員	学識経験	(会長) 河村 誠治	山口大学経済学部 教授	出席
	観光関係団体	(副会長) 羽嶋 秀一	防府商工会議所 副会頭	出席
		中司 達美	(一社)防府観光コンベンション協会 副会長	出席
		宇野 好一	防府観光物産協会 会長	出席
		吉末 忠晃	防府市商店街連合会	欠席
		吉谷 由紀恵	(一社)山口県観光連盟誘客プロモーション部 部長	出席
	市民（一般公募）	田中 元昭	—	出席
	市民活動団体	山野 悦子	特定非営利活動法人 市民活動さぼーとねっと	欠席
	観光関連・ 民間関連事業者 (旅行者)	多田 望	(株)JTB中国四国山口支店 支店長	出席
	観光関連・ 民間関連事業者 (産業観光関係 者)	黒瀬 智彦	マツダ(株)防府工場 総務部長	出席
事務局		島田 文也	地域交流部 部長	
		寺畑 俊孝	地域交流部 部次長	
		亀井 幸一	地域交流部 おもてなし観光課 課長	
		大倉 孝規	地域交流部おもてなし観光課 課長補佐	
		富岡 紀昭	地域交流部おもてなし観光課 観光振興係 係長	
		靄岡 俊樹	地域交流部おもてなし観光課 観光振興係 主任	
		渡邊 ももえ	地域交流部おもてなし観光課 観光振興係 主事	

議事録

1 開 会

(事務局より開会の宣言)

地域交流部長あいさつ

地域交流 本日はお忙しい中、またお足元の悪い中お集まりいただき、お礼申し上げます。
部長 部長 平素から本市の観光振興に多大なるお力添えを賜り、お礼申し上げます。

令和元年度は「ほうふ観光元年」と位置付け、防府商工会議所や防府観光コンベンション協会、観光関連事業者様と連携して、「防府が一つになった新しい観光振興」を展開しているところである。

御周知のとおり「すごいな！すごいぞ！防府」4施設を本市の観光施設の主眼とし、最大限に活かすため、四季折々の新しいポスターを作成し、今の時期は冬バージョンを掲出し、山口県内外に向けた情報発信に力を入れている。

本日は、「第2次防府市観光振興基本計画」を振り返るとともに、令和3年度からの「第3次防府市観光振興基本計画」の策定に向け、皆様の貴重な御意見等を頂戴したい。

2 出席委員等の紹介

(会議の公開について)

異議なし

3 議事

会長あいさつ

会長 いい協議会になればと思う。御協力をお願いします。

会長 議事1 基本事業報告、重点事業報告について事務局から説明をお願いします。
事務局 (資料1 「基本事業報告書」を説明)

事務局 (資料2 「重点事業報告書」を説明)

会長 ただいまの説明について、御意見・お気づきの点等があればお願いします。

委員A 資料2の43番「クルーズ」について、平成28年と平成29年に誘致活動をし、その成果が昨年出たということか。

事務局 昨年の寄港実績はない。目標値として3回を設定していた。

委員A クルーズの事業者は抜港と言って、天候不良で船が港に着岸できないことを恐れている。その点、防府市は瀬戸内なので抜港のリスクは低いのでアドバンテージがある。実績はないようだが、地道な活動をしていくといい。

- 委員B 資料2の27番「プロモーション活動、情報発信会や商談会等への参加」について、今年度も3月に東京での情報発信会を予定している。また各旅行会社や市町、民間事業者、コンベンション協会とも連携してセールス活動を行っているのでもよろしくお願いいたします。
- 会長 資料2の30番の「タイムラプス動画等PRツールの作成」について、これは日本語だけなのか。
- 事務局 これは映像だけで、ノンバーバルで対応できるものとなっている。
- 会長 それは日本旅行のサイトのみか。
- 事務局 ネット上にアップロードしているのは、日本旅行のサイトのみ。その他貸し出し要請があった場合や商談会ではDVD等で対応している。
- 会長 防府市としてはどのように広報しているのか。
- 事務局 「たびたびほうふ」という観光コンベンション協会のサイトにアップしている。また、JR新山口駅の自由通路にある、大型のスクリーンでも放映している。
- 委員C 資料1の13番「進出企業と連携する」について、この内訳で言うと7千人強が小学生となっており、この数字はそのまま観光にはつながりにくい。振り返るにあたって、表にもう1列追加して、評価欄を設けると本協議会で掘り下げることが可能となる。
- 会長 達成状況については後ほど事務局に説明してもらおう。
- 委員D 来訪者の声として宿泊施設がないと聞いている。来訪されても宿泊は他市という苦しい状況にあるので、防府に大きなホテルを誘致してもらいたい。
- 委員F 「実地保留」となっている箇所の説明が聞きたい。
- 会長 後ほど達成状況の説明において事務局に説明してもらおう。
- 委員G 毛利邸のイベントには多くの観光客が訪れるが、通過型となっている。喫茶店前の砂利のスペースにテントやトイレを設けるといいのではないか。
- 委員E 観光コンベンション協会とも連携して情報発信してもらいたい。「幸せますステーション」について、増やすだけでは意味がない。活用することが重要。
- 会長 数が増えることはいいことだが、トラブルも増えていく。数を増やしながらからトラブル回避に向けた対応もお願いしたい。
- 事務局 次に各種指標の達成状況について事務局から説明をお願いします。
(資料3 「各種指標の達成状況」を説明)
- 会長 資料3の説明について、御意見・お気づきの点等があればお願いします。
- 委員F 予算や人員の制限はあったかもしれないが、知恵を絞ってほしかった。
- 委員C 進捗率も高いところは高い。表1の3番「観光案内所利用者数」が伸び悩んでいるが、どのように伸ばすかを考えないといけない。
- 7番の「大型クルーズ船の寄港」が飛鳥Ⅱの1回となっていることについて、例えば中関港において、日程がマツダの出荷のタイミングと合わないといった事情があるのであれば相談してほしい。
- 委員A 表1の9番「地域ブランドランキング」について、中長期的に効いてくるKPIなので第3次の計画においてはもっと前面に押し出すといいのでは

ないか。

表2の1番「魅力的な観光地となっている」と思う市民の割合において、平成22年から平成31年では倍近い数字に伸びているにも関わらず、表5の観光担当部署の職員数が減っているのもっと力を入れてほしい。

委員B 表1の5番「着地型旅行商品の造成数」と6番「『地旅』参加人数」について、6番の参加人数とは5番の着地型旅行商品に参加された人数のことか。

事務局 5番の「着地型旅行商品の造成数」とは、市が造成した着地型旅行商品の数であり、6番の参加人数とは市が造成したものに限らない着地型旅行商品でかつウォーク形式で行われるものである。

委員B 効率を考えた目標設定は良い選択である。

会長 表1の2番にある「延べ宿泊者数」について、これは1人が2泊すれば延べ宿泊者数は2人になるが、実人数は増えていない。

それでは総括をお願いします。

事務局 多様な御意見にお礼を申し上げる。

全体としては「幸せます」を地域ブランドとする意欲的な試みを推進していったが、計画の内容が大きくなり過ぎおもてなし観光課がリーダーシップを発揮できなかったこと、予算が脆弱であったこと、明治維新150年という目先の事業に振り回されてしまい、狙った目標に到達しない、防府市と言えば「幸せます」というブランドが確立できないという状況に陥ったと総括している。

今後は委員の皆様からの御意見と、我々が総括したことを踏まえながら、次の計画につなげていきたい。

会長 議事2 資料4の第3次防府市観光振興基本計画策定スケジュール（案）について事務局から説明をお願いします。

事務局 （資料4 「第3次防府市観光振興基本計画策定スケジュール（案）」を説明）

会長 資料4の説明について、御意見・お気づきの点等があればお願いします。

委員E 予算がつき、コンサルが決まったときは、コンサル並びに関係団体とよく協議し、防府市ならではの具体的な計画を作ってもらいたい。

委員D 「幸せます」コンシェルジュについて、物産についても協力をお願いしたい。

観光案内所には直接観光と関係ないような方も遊び心として配置してもらいたい。

会長 議事3 「その他」について事務局から説明をお願いします。

事務局 今後の協議会開催スケジュール、協議会の構成員に関する説明

4 閉会